

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科・矯正歯科では、下記の臨床研究に、試料・情報を提供しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

提供先の研究課題名：外科的矯正治療に関する実態調査

1. 提供先の研究に関する情報

1) 研究の目的や概要について

近年、顎変形症の外科的矯正治療も認知度を高め、日本国内で毎年約 3000 例の顎矯正手術が実施されるようになりました。特定非営利活動法人日本顎変形症学会では平成 20 年にわが国における顎変形症に対する実態調査を行い、その調査結果を会員にフィードバックすることにより、顎変形症治療における施設間差を解消し、顎変形症に対する医療の質と安全性を向上させ、さらには医療者と患者の相互理解に役立ててきました。前回の実態調査から 10 年が経過し、術前・後矯正治療にも大きな変化が現れてきました。そこで、顎変形症に対する外科的矯正治療の実態に関する詳細なデータを収集することを目的として調査を行います。

プロジェクト統括責任者

特定非営利活動法人 日本顎変形症学会 理事長

新潟大学大学院医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野 教授

小林正治

特定非営利活動法人 日本顎変形症学会学術委員会委員長

東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野 教授

高橋 哲

2) 研究実施予定期間

上記の研究は、倫理審査委員会承認後から 2020 年 3 月 31 日まで行われます。

2. 対象者

提供する試料・情報の対象となるのは、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの間に当院で顎矯正手術を施行した患者さん

3. 提供する試料・情報の内容

情報の利用目的及び利用 方法(他の機関へ提供される 場合はその方法を含む。)

診療録と手術記録から年間実施例数、術前・後矯正治療の期間、歯科矯正用アンカースクリューの使用等について日本顎変形症学会のアンケート書式により調査を行います。収集した情報からは特定の個人を識別することはできませんが、研究に用いられることを拒否したい方は以下までご連絡ください。ただし、データに組み込まれてか

らは特定個人のデータのみを切り離すことは不可能となることをご了承ください。

利用または提供する情報の項目

診断名、手術術式、手術時間、出血量、入院期間、顎間固定期間、矯正治療内容、合併症・偶発症

4. ご質問などの連絡先

この研究に関して疑問、質問があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科・矯正歯科

職名 病院講師 氏名 金氏 毅

電話：0985-85-3786

FAX：0985-85-7190